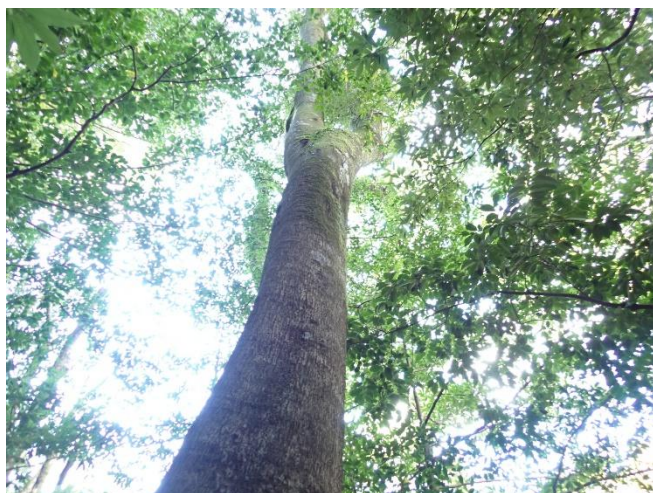


猫越ウラジロガシ希少個体群保護林

| | |
|------------------|--|
| 管轄森林管理局・署 | 関東森林管理局 伊豆森林管理署 |
| 所在地 | 静岡県伊豆市 |
| 面積 | 11.28ha |
| 設定年 | 平成3年(設定)、平成30年(名称変更) |
| 保護林の概要 (設定目的) | 高齢級のスタジイ、アラカシ、シラカシが優占し、当該地域の自然植生を示す群落として、植生遷移上及び学術上貴重である。このため、シイ・カシ類が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。 |



保護林内の状況



ウラジロガシ生育状況

モニタリング調査概要

| | |
|------|--|
| 実施年度 | 平成22年、平成27年、令和2年、令和7年 |
| 調査項目 | 資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査 |
| 調査手法 | 森林詳細調査として、ウラジロガシ群落において調査プロットを計2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用した。 |
| 結果概要 | ナラ枯れによりウラジロガシを含むブナ科の大径木が枯死し林相等に変化が起きているプロットがみられた。また、ニホンジカの採食圧による影響で下層植生が減少しており、保護対象種であるウラジロガシの稚樹や実生が少ない状況であった。 |